

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

講義科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク演習 (専門) A	HSP33-004	選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
間嶋 健	B312	ken.majima		水曜日 12:10～13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>精神保健福祉に関する基本的な知識を習得し、精神障害者やその家族に対する理解の深化を図る。</p> <p><概要>精神保健福祉に関わる職種や機関の役割と業務内容を解説し、基本的な援助技術についてグループワーク等の演習を実施する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート				
学習上の助言	これまで学んできた知識や技術について復習をしておくこと。				
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習 [精神専門] /編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	対人援助の際の具体的な援助技法や知識を理解し、説明することができる。			HSU(2)、HC(3)	
②	コミュニケーション技術や情報収集、記録について理解し実施することができる。			HSU(4)、HC(6)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業オリエンテーション、授業概要や学習方法を理解する	講義	シラバスを精読する。	4	
2	自己紹介と自己覚知	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
3	傾聴について構造的に学ぶ	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
4	共感について構造的に学ぶ	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
5	良い面接・悪い面接について学ぶ	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
6	アセスメントを学ぶ① エコロジカルアプローチ	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
7	アセスメントを学ぶ② BPS モデル・ICF	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
8	カルテからアセスメントする	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
9	援助記録を作成する	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
10	疾患の理解とロールプレイ① アルコール依存症	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
11	疾患の理解とロールプレイ② 統合失調症と地域移行	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
12	疾患の理解とロールプレイ③ 就労支援	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
13	他職種連携と専門職集団とのコミュニケーション	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
14	事例検討① 相模原事件について	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
15	事例検討② その他	演習	教科書の該当章を精読する。	4	
試	(試験実施欄は空白)				

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	50	0	50	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	30	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	0	20	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	演習、グループワークの報告、発表時の姿勢や内容等により教員が評価。評価にあたっては報告、他の学生の発表に対する反応・リアクション等も考慮する。			講義中にフィードバックする。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	出欠や授業の取り組み姿勢を評価する。			講義中にフィードバックする。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	なし。						
実践的授業の内容	事例検討においては、実際的な解決方法の提示や、ソーシャルワーカーが陥りやすいジレンマの回避方法等を教示する。						
そ の 他	1) 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 2) 今後の感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。 3) 「ソーシャルワーク演習」を履修し、単位を取得していること。 4) 精神保健福祉士国家資格取得希望者は必須科目につき必ず履修すること。 5) 原則として遅刻、欠席は認めない。やむを得ず遅刻や欠席をする場合は、必ず所定の手続きを踏むこと。 6) 生成 AI の使用/不使用について、課題に応じて随時教員から指示する。						